

大学の先生方による出前授業

平成19年10月24日(水)実施

香川大学教育学部附属坂出中学校

本校は、昨年度より、文部科学省の研究開発指定を受け、異学年合同の発展的学習として、シャトル学習を実施しています。シャトル学習では、基本的に上級の学年で教科の授業を行います。中学校において3年生は上級学年がありません。そこで、普通科高校を1年間に2回訪問し、教科の授業を受けています。本年度はさらに視野を広げるために、より専門的な内容を学習するために、大学の先生方による出前授業を計画し、実践しました。

コースの学習テーマ 「学長バイオテクノロジーを語る」
指導者 一井 眞比古 学長



【タマネギの鱗片から DNA 抽出実験を行っている様子】

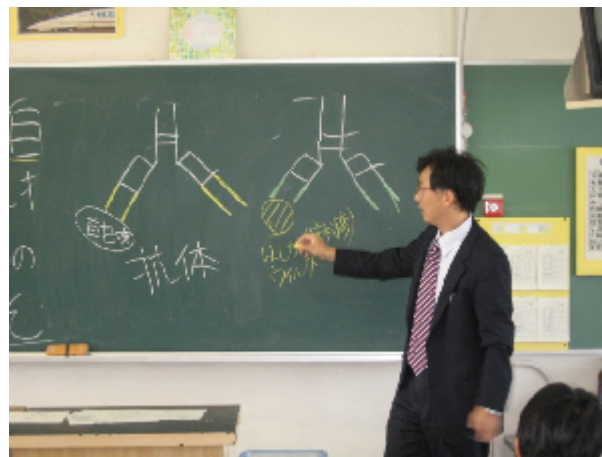


【エッペンドルフチューブの中の DNA を説明している様子】

コースの学習テーマ 「免疫と感染症」
指導者 鎌野 寛 保健管理センター教授



【鎌野先生が免疫について説明している様子】



【抗体についての説明】

コースの学習テーマ 「頭はよくすることができるか」

指導者 板野 俊文 医学部教授



【記憶について説明している様子】



【授業を受け、お礼の言葉を述べている様子】

コースの学習テーマ 「参議院選挙とこれからの日本」

指導者 大賀 睦夫 経済学部教授



【参議院選挙の説明を受けている様子】



【新聞資料から選挙の様子を調べている様子】

コースの学習テーマ 「世界初小型人工衛星STARS」

指導者 山本 健志 大学院生（工学部能見研究室所属）



【地球の軌道について説明を受けている様子】



【地球の軌道について説明を受けている様子】

コースの学習テーマ 「法は瀬戸内海を守れるか」

指導者 山田 健吾 法学部准教授



【高松市の埋め立て計画の地図を見る生徒の様子】



【始めて法律に触れ、熱心に読む生徒の様子】